

## 第1回「台風情報の表示方法等に関する懇談会」の開催について

標記懇談会を以下のとおり開催しますのでお知らせします。

1. 日時 平成17年12月14日(水) 10:00～12:00
2. 場所 気象庁大会議室
3. 議事(案)
  - (1) 台風予報の図表示方法
  - (2) 温帯低気圧に変わった台風に関する情報の発表方法
  - (3) その他

傍聴は可能ですが、会場の都合上、希望される方は12月13日(火)12時までに以下の連絡先までご連絡願います。

写真・映像等のカメラ撮影は、冒頭のみ可とさせていただきます。

[ 本件に関する問合せ先 ]

気象庁予報部業務課 (03-3212-8341 内線 3107、3119)

(参考)

## 「台風情報の表示方法等に関する懇談会」の開催について

### 1. 目的

昨年度、気象庁では、予報部を中心に国土交通省プログラム評価として「台風・豪雨等に関する気象情報の充実 災害による被害の軽減に向けて 」について取組み、台風・豪雨等に関する気象情報の課題と改善の方向性をとりまとめた。

この中で、台風予報をきめ細かく発表するなどの情報内容の改善に加えて、利用者が視覚的にも理解しやすく、各機関等の様々な対応判断に資する台風予報の表示方法の改善等が課題に上げられた。

台風予報等の情報は防災上極めて重要であることから、報道機関等とも協議の上、台風情報の図表示方法等を検討する必要がある。

このため、有識者等による懇談会を設けて以下の事項について意見を拝聴し、今後の台風情報の表示方法等に関する方針の策定に資する。

### 2. 懇談項目

#### (1) 台風予報の図表示方法

- ・ 防災対応における社会的混乱等を引き起こさないことを前提に、現在の予報の技術水準を踏まえて、報道機関等の創意工夫が十分に発揮できるような台風予報の図表示方法に係る考え方について懇談する。
- ・ 「暴風域に入る確率」の面的情報の発表について懇談する。

#### (2) 温帯低気圧に変わった台風に関する情報の発表方法

- ・ 台風から温帯低気圧に変わった後も、台風時と同様の警戒を促せるような情報の発表方法について懇談する。

### 3．懇談会構成メンバー

座長：廣井 脩 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府教授

副座長：田中 淳 東洋大学 社会学部教授

委員：

#### 1． 有識者 五十音順

石橋 博良 (株)ウエザーニューズ 代表取締役会長兼社長  
(気象振興協議会 第一部会長)

磯澤 亮祐 毎日放送 報道局 ニュースセンター部次長

高橋 民夫 文化放送 編成局報道制作部防災キャスター

谷原 和憲 日本テレビ放送網 報道局社会部副部長

宮崎 緑 千葉商科大学 政策情報学部助教授

山崎 登 日本放送協会 解説委員

#### 2． 行政機関

細川 雅彦 札幌市 危機管理対策部危機管理対策課長

生駒 正明 鹿児島県 危機管理局次長兼危機管理防災課長

小暮 純也 内閣府 参事官(災害応急対策担当)

金谷 裕弘 総務省消防庁 防災課長

宮本 博司 国土交通省 河川局防災課長

### 4．懇談スケジュール案

第1回会合 平成17年12月14日 課題の分析等について

第2回会合 平成18年1～2月 方針案の策定について

ただし、懇談の状況によって第3回会合を開催する。